

施工要領書

令和3年6月1日

1. 下地処理

- ・油分、ヤニ、手垢、ゴミ、カビ等の汚れはキレイに除去して下さい。
- ・木材は充分（含水率 20%以下）に乾燥させます。（表面に水分が残っていると吸い込みムラが出来ます）
- ・木材表面に毛羽立ちがあるときは、# 320～600 のサンドペーパーで研磨し平滑にします。
研磨で詰まった導管内の木粉はハケやエアブロー等でキレイに除去します。

2. 下塗り（輪ジミ・アク止め処理）

① エコアルファコート無機 G-7400 の塗り込み

- ・一度に広い面積を塗装せずに、小面積毎にニスバケ等で均一に所定の塗布量を含浸塗布します。
- ・吸い込みのある間は吸い込みが止まるまでたっぷり塗り込んで下さい。
- ・塗布後、表面の塗料はすべて木部に沈み込み、24 時間以上乾燥させてください。
- ・吸い込みのない硬い部分に液残りの場合は、乾燥する前にキレイな布で浮いた液を拭き取ります。

3. 上塗り

① エコアルファコート（上塗り仕上げ用）の塗り込み

- ・エコアルファコートを含浸させながら塗布します。
- ・均一な濡れ色になるように吸い込みがある間はどンドン塗り込んで下さい。塗り込んでいくと徐々に吸い込みの速度が遅くなります。その段階では少し時間（2～5 分）をおくと吸い込んで液浮きがなくなるので、さらに塗り込んでいきます。
- ・吸い込む所と吸い込まない所が出来てきたら、吸い込む所を集中して塗り込みます。
- ・全体的に液浮き状態になったら塗り込みを終了し、乾燥する前に拭き取り仕上げ作業に移ります。

② 仕上げ作業

- ・柔らかいキレイな布で、浮いた液を拭取りながら均一な濡れ色に仕上げます。
拭き取りは表面が指触乾燥する前に行ってください。指触乾燥してしまうと拭き取り仕上げが出来ません。
（万一乾燥して拭き取れない場合は、専用シンナーまたはラッカーシンナーで乾燥塗膜を拭き取ってから塗り直します）
- ・吸い込みの度合いは木質により異なります。また、木の部分によっても吸い込みが異なりますので拭き取りのタイミングに注意して下さい。
- ・表面の仕上げは、木肌を生かす程度により拭き取る強弱を調整して下さい。撥水性と防汚性をより強く出したい場合は、ごく軽く（少しテカリツヤがある程度に）均一に拭き取ります。木肌を強調したい場合は少し強めに拭き取ります。
- ・表面の仕上がりに状態により、木肌のツヤ、撥水性、防汚性が微妙に異なりますので、好みに合わせて調整して下さい。
- ・夏季は乾燥が早いので拭き取りのタイミングに注意して、早めに（指触乾燥するまでに）拭き取り作業をして下さい。

4. 養生

- ・風通しの良い所で乾燥させて下さい。
- ・約 24 時間で半硬化乾燥します。半硬化乾燥後毛羽立がある場合は、#400～600 前後のサンドペーパーで軽く研磨して平滑にします。研磨した木粉はマイクロファイバー等で充分に取り除いて下さい。
- ・毛羽取りをした場合は同様の方法で塗装し同様の方法で拭取って最終仕上げをして下さい。
- ・7 日ほどで硬化乾燥し防汚撥水性能が発現します。硬度が U P し木材最終強度に乾燥するまで約 20 日かかります。
- ・エコアルファコートは空気中の水分と反応して硬化しますが気温にも影響を受けます。従って夏季は上記乾燥時間の約 1/2 で乾燥し、冬期は上記乾燥時間の約 2 倍の時間がかかります。
- ・乾燥時間を充分考慮の上養生期間を決めて下さい。

5. 注意事項

- ・天然無垢木材用ですのでニス塗装された木部には十分な効果が得られません。
- ・木材の種類により仕上がりの状態が異なりますので、予め同材での試し塗りをして仕上がりを確認して下さい。
- ・乾燥後光沢が出過ぎた場合は、# 500～# 1000 のサンドペーパーで研磨して木肌状態に戻してから、3 の作業を繰り返して下さい。
- ・用具の手入れはラッカーシンナーをご使用下さい。
- ・残った液を捨てる時は紙やウエス等に染み込ませ、乾燥させてから廃棄して下さい。